

公立高校入試情報 香川県

【社会】

令和6年度香川県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問数：地1・歴1・公1の計3問（昨年と同じ）
- 小問数：41問（昨年は46問）
- 文章記述問題は8問（昨年は10問）
- 出題傾向について
- 地理分野では、昨年同様、雨温図・地形図・統計資料の読み取り、時差の計算問題など多彩な問題が出題されている。また、昨年出題されなかった作図問題が復活。資料の数値を読み白地図に記入する技能的な問題が出題された。
- 歴史分野では並べ替え問題が2問出題されている。
- 公民では情報社会の課題を考え記述する問題が出題された。

■ 活用問題の出題

・複数の資料を活用した読み取り問題や記述問題が出題されているため、統計やグラフなど資料の読み取り対策と自分の考えを簡潔にまとめる記述対策の両方が必要。

■ 作業・作図問題の出題

・例年、作業・作図問題が出題されているため、さまざまなパターンの問題で練習しておくことが必要。

★香川県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

	単元名／項目		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●	●
		日本の姿	●	●	●	●
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●	●
		アジア州		●	●	●
		ヨーロッパ州、アフリカ州	●			●
		北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州		●		●
		地域調査の手法	●	●	●	●
		日本の自然、人口	●	●	●	●
		日本の資源・産業、世界との結びつき	●	●	●	●
		九州地方、中国・四国地方				●
	歴史的分野	近畿地方、中部地方			●	
		関東地方、東北地方、北海道地方	●	●		
		文明のおこりと日本	●	●	●	
		古代国家の歩み	●	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●	●	●	
		近世社会の発展	●	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●	●	●	●
		近代日本の歩み	●	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●	●
出題形式別の傾向	公民的分野	現代の日本と世界	●	●	●	●
		現代社会と私たちの生活				●
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●	●
		現代の民主政治、国会	●	●		●
		内閣・裁判所、三権分立	●	●	●	●
		地方自治	●	●	●	●
		消費生活と流通・生産、市場経済と金融	●	●	●	●
		財政、国民生活と福祉	●	●	●	
		地球社会と私たち		●	●	●
		分野統合				
	出題形式別の傾向	大問数	3	3	3	3
		小問数	47	46	46	41
		記号解答	25	28	24	22
		用語記述	12	9	12	10
		文章記述	9	8	10	8
		作業・作図	1	1		1